



街に

雪が降った

2月8日。予報通りベイタウンに雪が降りました。夜半から降り続いた雪は朝には積もるほどになり、さらにそのまま降り続いて翌9日の昼頃には街路樹が雪で白くなりました。

この日は丁度3連休の初日の土曜日で学校は休日。ここ数年では珍しいほどの積雪に子どもたちは大喜びです。1丁目公園では雪ダルマに雪合戦。そして小高い丘では普段は段ボールを使って滑り降りていた斜面をソリで滑り降りていました。



公園の斜面をソリで滑る子どもたち。プラ製のソリが普及したのでベイタウンでも雪の日に見られるようになりました。この斜面、普段は段ボールで滑られています。



ベイタウンに 春が来る

10日ほどして幕張海浜公園の梅林に行ってみると、もう梅がたくさん咲いていました。この梅林には白梅と紅梅がありますが、紅梅はもう8分咲きほどになり、白梅も木によってはやはり8分咲きくらいまで咲き進んでいました。

次に待たれるのは桜。ベイタウンではこの梅林の近くと3丁目公園（スポーツ公園）のテニスコート横に河津桜があります。梅林の梅が満開になる2月末か、このベイタウンニュースがお手許にとどく3月の第1土曜日の頃には河津桜も咲き始め、やがて街中のオオシマザクラやソメイヨシノが咲き始めベイタウンにも春が訪れます。



幕張海浜公園の梅林。20本ほどの梅が咲く小さな梅林ですが、白梅と紅梅があり、満開の日には多くの人が訪れます。後ろはホテル・スプリングス。



小畑 幸保さん

ベイトアウン・コアの芝生を芝刈り機で刈ったり、もちつき大会で餅つきをしたり、ベイトアウンでこの人を見ない日はないと思える程、毎日街のボランティア活動に精を出す小畑さん。84歳になっても衰えない気力と体力、そして他人のために動くことを厭わない気持ちはどこから来るのでしょうか。【松村】



小畑さんが生まれたのは昭和10年7月。熊本県は天草の半農半漁の小さな町でした。子どもの頃は早朝からお父さんの手伝いで海に漁に出たり、学校から帰っては段々畑の坂を登って畑仕事の手伝いをしたりしていたそうです。84歳になった今でもどんな小さなことも面倒がらず、手間を惜みずに動けるのはその頃の生活で身についたものだといいます。

昭和20年、8月6日の朝。小学生の小畑さんは恐ろしい体験をします。夏休みで遊びに行っていた親戚の家で、山を超えた長崎の街に猛烈な閃光とそれに続く黒い巨

大な雲。長崎の原爆でした。

戦後の混乱した時代の中、運命を変えたのはスポーツとの出会いでした。昭和59年7月、小畑さんは天草高校2年生で体操選手としてインターハイに出場します。子どもの頃から鉄棒や機械体操が得意で高校では体操部に所属していました。翌年高校3年の時には熊本県代表選手として国体にも出場します。その後、高校の先生の熱心な勧めもあり、東京の日本体育大学へ進学することになります。

まだ誰でもが大学に進めない時代、九州の小さな町から東京の大学に進学するのは

大変なことでした。学力や才能があっても、経済的にも大変です。東京でパン屋さんをやっていた親戚を頼って上京した小畑さんは住み込みで新聞配達をしたり、家庭教師をして大学を卒業したといいます。

昭和33年、日体大を卒業してからは中学校の体育科の先生として東京での社会人生活をはじめます。しかし中学の先生の仕事は部活の指導などで忙しく、5年間勤めた後、墨田区の向島工業高校（定時制）に移ります。昼間は働いて夜高校に来る子どもたちに苦学した自分を重ねたそうです。

そして昭和39年に結婚し、昭和44年に奥さんと千葉市の幸町団地に引っ越して千葉に来ました。定時制高校の教員だったので、昼間は家にいることが多い小畑さんは、必然的に幸町団地の自治会に。持ち前のまめまめさで自治会活動に精を出しました。工作が得意で、毎年の祭りで神輿やマンガに出てくるヒーローの巨大な模型を木工細工でつくっては喜ばれたそうです。その頃の仲間とは今もソフトボールチームをつくり付き合いがつづいています。

ベイトアウンに来たのは平成7年3月。退職になる少し前でした、しばらくは都内の定時制高校へ通うことになりましたが、1年して教員を退職。以後、自治会の仕事やそれ以外にもベイトアウンのボランティア活動を続けています。

子ども時代を自然に囲まれて育った小畑さんは花が好きで、コアの花壇の手入れは小畑さんとそのお友達がずっと世話をしています。千葉市から花の苗をもらい、コアの花壇と10番街に花が絶えることはありません。

打瀬小学校 卒業論文発表会

打瀬小学校では毎年2月上旬に6年生が卒業論文発表会を行います。今年も2月5日（火）から毎日午後1、2時間ずつ、一人15分くらいで全員の発表を9日（土）まで行いました。

卒論発表は6年生が自分の選んだテーマで、1年という長い時間をかけていろいろなことを調べ、その成果をOHPやパソコン動画などを使ってクラスの全員、保護者、先生の前で発表する打瀬小独自の授業です。同小ではこの研究と発表を創立時から行っています。

卒業論文といっても小学生ですからもちろん大学の卒論のようなものとは違いますが、それでもよく練られた発表を見てみると、熱意も

なく義務でやっていた僕の大学時代の卒論などよりよほどいいものがあり、見ているとその子の1年間の努力の後か感じられます。

例えば、ある女子は習っているバレエのある技術のマスターすることをテーマに1年間取り組んだ様子を発表しましたが、目標を数値化し、その成果を見えるようにして努力の励みにしていました。できるようになるためにはどの筋肉を鍛える必要があるか、そのためのトレーニングの方法はどうするかを論理的に考え、専門家にもアドバイスを受けて実践した結果を動画で説明していました。

発表の内容も分かりやすくプレゼンテーションとしてもとてもよくできていました。

卒業論文のテーマは紹介したバレエの他サッカー、野球、プログラミングなどの習い事や趣味をテーマにしたものが多く、将来の夢とその実現のために今からどうすればいいのかを研究テーマにしている例が多く見られました。

ベイトアウンニュースではこの卒論発表を毎年取材させていただいていますが、始まった頃に比べると研究の内容も発表の方法も毎年進化していることを実感します。

発表会を見ていた櫻井校長先生は、「これが打瀬小の伝統なんですね」と話してくれました。



論文発表の様子。プロジェクターやパソコンを使う発表は最近重視されるプレゼンテーション能力を磨く。発表会は本格的で司会進行や計時も6子どもたちが行っていた。発表後は同級生や担任の先生から質問や感想を受け、出席していた保護者にも感想を求める。

「大人の EX 講座」 公民館特別フォーラムに出席して

先月案内した打瀬公民館特別フォーラム「地域と学校をつなぐ打瀬中 EX 講座」が 2 月 10 日（日）午後、打瀬中の後藤教頭先生と辰野先生を含む 30 人を超える参加者を迎えて、打瀬公民館講習室で熱く開催されました。

フォーラムは、公民館村山館長の司会による基調講演で始まり、つづいて実際の講座のうち 3 例の報告が行われました。「エコパーク」については「幕張ベイタウンにエコパークをつくる会」の小川さん、「法律について学ぶ」は、弁護士の加藤さん、「ベイタウンニュースに記事を書こう」は打瀬中卒業生の加治さんと本紙編集局の松村が行いました。それぞれ何回も EX 講座を担当し、積み重ねてきた経験があり、生徒を引き付けるスタイルをそれぞれ編み出していました。

3 つの講座に共通するのは、生徒の参加型だということです。特に肝に銘じたいと思ったのが、小川さんの「聞いたことは、忘れる。見たことは、覚える。体験したことは、わかる。自ら発見したことは、できる」というヒント。これは、生徒に主体的に取り組ませるには、知識を外から与えるという方向ではなく、内側から知りたいと

いう意欲を持たせ、発見するように方向付けることが大切だということ。自ら発見するわくわく感がエキサイティングつまり EX 講座なのですね。

後半は参加者を交えたパネルディスカッションで、様々な意見やアイデアが出されました。参加者の中で、今回の EX 講座を受けた中 1 生を持つお母さんが発言されました。当日の夜、お子さんが「今日はこんな授業があったよ」と珍しく自分から話しをしてくれたのだそうです。何か刺激があったのだろうな、と思わせてくれます。また、ベイタウンにはまだまだ多くの人材があるのではないかと、という提起もありました。打瀬中卒業生の加治さんは「この授業のことを SNS で紹介したところ、元打瀬中の先生や同窓生から多くの反響が還ってきた」と関心の高さを教えてくれましたし、彼女の同級生にも様々な方面で活躍している人は多いようです。なんと言っても卒業生の活躍を知れば、将来の自分と重ね合わせて考えることができるので、刺激になることでしょう。

最後には、学校と EX 講座講師陣のつながりが持てる存在の必要性や大人 EX 講座など、想いはさらに広がりを見せはじ

め、改めて街に開いたこの EX 講座の潜在的なチカラの可能性をおおいに感じながらフォーラムは閉じました。

フォーラムを受けて、参加した住民や打瀬公民館、中学校では早くも次の EX 講座について様々な企画が出ています。住民と学校、そしてその間にある公民館。3 者がうまく結びついて地域の資源が活用されることがフォーラムの目標であり、ベイタウンにはその力があると信じます。【小原】



ベイタウン・コアが変わった

昨年の 4 月からベイタウン・コア（打瀬公民館）は指定管理者制度の導入で管理者が市教育委員会から千葉市教育振興財団に変わりました。指定管理者制度がいいのか悪いのか、まだ評価はくありませんが、とりあえずコアはこの変更で何か変わったのでしょうか。実際にコアを利用する立場から見てみました。【松村】

まずは外観や設備から。ベイタウン・コアは 2002 年 4 月の開館。今年 4 月で 18 年目になります。さすがに 20 年も経つとあちこち劣化が目立ってきます。しかしこの間「予算がない」との理由でコアには本格的なメンテナンスが行われてきませんでした。昨年はホールの照明が動かせず、舞台エレベーターも危険な状態でした。不具合があっても直せない状態にホールを利用する機会の多い音楽系のサークルからは「公民館として運用したのがすべての元凶」と厳しい声も。

ところが昨年秋頃から状況が変わり始めました。最初が変わったのはエアコン。17 年間一度もメンテナンスされなかったエアコンが全館でオーバーホールされたのです。つづいて先に挙げたホールの照明機器と舞台エレベーターも点検され、無事利用できるようになりました。

目に見えるところでは、アトリウムの椅子も全部新品と交換されました。アトリウムの椅子と大型のテーブルはコア開館時に住民の方から寄贈されたものです。それだけに愛着もあり、特にモダンな椅子は人气的でしたが、17 年の月日には勝てず、

替わって今は実用的ですが、カラフルな椅子で子どもたちが勉強しています。

そして今年に入ってからコアの外壁部分の総点検と補修も行われました。これは足場を組んでの大がかりな工事だったため驚いた方も多くでしょう。

これらの修理や点検にはもちろん大きな費用がかかっています。今まで「ない袖は振れない」と言われ、見捨てられているのではと不安視していたコアが一気に蘇ったようです。千葉市は急に景気が良くなったのでしょうか。

答はもちろん先に紹介した「指定管理者制度」への移行です。特に予算が潤沢になった訳ではなく、これまで教育委員会が管理していた千葉市内の 47 公民館がすべて教育振興財団の管理に切り替えられたからです。財団によると、「組織を見直し、職員の意識を変え、合理化を行った結果」余ったお金をリニューアルに向けたことによるのだそうです。

指定管理者制度が導入されて良かったのかどうかは今後の状況で判断するしかありませんが、とりあえずは前より良くなったことを喜びたいと思います。

今回の点検と補修では注目したい点がひとつあります。それはホールの照明と舞台昇降機が点検されたことです。点検のみですが、これは大きな金額の費用がかかります。これまで千葉市はホールは打瀬公民館の特殊な事情であり、他の公民館と同列の予算では扱えないとしてそのメンテナンスを後回しにするような空気があり、これが公民館として管理されたことの弊害として住民からは不評を買っていました。

今回の経費の使われ方を見ているとホールも同列あるいは優先的にメンテナンスを行っています。財団管理になってホールが本格的に維持管理されるべき対象として認識されたのなら喜ばしいことです。





つどい～まなび～つなぐ ベイタウン・コア/公民館通信

～毎月のコアでのイベントや公民館主催の講座情報を館長がお伝えします～

【3月のコア・イベントの紹介】 館長イチ押し！

◇春のアトリウムコンサート

実施日：3月16日（土）14：00～15：00
打瀬公民館アトリウム特設ステージ 入場無料
出演：ヴァイオリン演奏 有働里音さん



<プロフィール>

有働里音（うどうりおん）
ベイタウン在住。5歳より清水高師氏に師事。12歳の時、サントリーホールオープンハウスにて横浜シンフォニッツとソリストとして共演、その後も様々な演奏会や音楽コクールの活躍。今年の千葉市芸術文化新人賞の受賞が決定。打瀬中学校出身、現在は東京藝術大学音楽学部一年在学中。

◇今回のアトリウムコンサートは有働里音さんお一人の出演です。館長とのトークを交えながら進行いたします。演奏の曲目は未定ですが、高い演奏技術により奏でられる表現力豊かな演奏をお楽しみください。

幕張ベイタウン室内合奏団 第14回演奏会

日時：2019年3月10日（日）14:00 開演（13:30 開場）
場所：幕張ベイタウンコア・ホール
演奏曲目：

ブラームス ピアノ連弾曲 より / ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第8番（ラズモフスキー 第2番）/ ドボルザーク スラブ舞曲 より / ブラームス クラリネット五重奏曲
ピアノ連弾と弦楽四重奏をお楽しみください。

3月のコア・イベント

わくわくおはなし会 3月のおはなし会

日時：3月16日 第3土曜日 午前10：30～
場所：ベイタウン・コア講習室
今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。
年齢制限はありません。
絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎
ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>
お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

寺子屋工作ランド

「レインボースコープ」をつくろう
日時：3月23日 第4土曜日 午前9：30～11:30
場所：ベイタウン・コア工芸室
にじ色の万華鏡みたいなふしぎなスコープ。なにが見えるかな。
持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、きれいな千代紙
参加費：50円（保険料）

第180回ファティオリの会

日時：3月24日（日） 午前9：30～11：30
場所：ベイタウン・コア音楽ホール
フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。
締切：3月17日（日）
申込先：suhara-u@kmj.biglobe.ne.jp（須原）

五輪・パラリンピック情報！

◇五輪・パラリンピック関係の情報コーナーの設置！

2020東京オリンピック・パラリンピック開催まで1年余りになりました。公民館でも五輪・パラリンピック関連の情報を提供するコーナー、掲示板を設置しています。千葉市役所のオリンピック・パラリンピック振興課からの情報を提供いたします。ご利用ください。



◇パラリンピック切手アート作品の展示

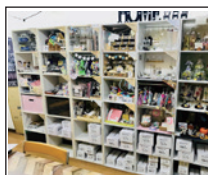
千葉大学と日本郵便が協力して、オリンピック・パラリンピックを盛り上げるために行っている使用済み切手を使った「切手アート」の作品が2月中旬から3月初めまで打瀬公民館のアトリウムに展示されました。幕張メッセが会場となっているパラリンピック競技「シッティングバレーボール」がテーマです。市内の小学生も制作に協力したそうです。ご覧いただきましたか？躍動感ある動きがたくさんの切手で描かれていました。



3月のベイタウンかふえ

日時：3月13日（第2水曜日）午後1：30～4：00
場所：地域連携センター（ベイタウン・コア横）
前半のイベント、高山訓先生による口腔ケアの話。お口の健康は全身の健康につながります。後半は茶話会。ゲーム、ハンドマッサージ、回想新聞もあります。
認知症の不安に応える専門家が常駐しています。遠慮なくご相談下さい。
お問い合わせ：うたせ認知症を考える会
中澤（TEL：211-0588）

キュービックカフェ 3月・4月のイベント・ワークショップ



毎月9日はキュービックの日！
『キュービックマルシェ』開催
＜3月＞2019年3月9日（土）11:00～
＜4月＞2019年4月5日（金）6（土）・9日（火）日11:00～

イベント詳細・お問い合わせ：キュービックカフェ
<https://www.cubic-cafe.com/>



コアに花を植える会 会員募集中

「コアに花を植える会」→花植えに興味のある方、お手伝いのできる方を募ります。

公民館開設から現在まで花植えの世話をしてきました。

* 千葉市から春・秋花苗配付の花植えと種から育てます。下記に連絡ください。

小畑幸保 パティオス 10 番街 520

Tel：043-211-0935 Email：kobata@jeans.ocn.ne.jp